

宇宙開発の現状報告

(平成 22 年 6 月 16 日(水) ~ 平成 22 年 6 月 22 日(火))

平成 22 年 6 月 23 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

- 小惑星探査機「はやぶさ」について

6月18日に行われた菅総理大臣とラッド豪州首相との電話会談の冒頭、菅総理は、我が国の小惑星探査機「はやぶさ」の帰還にあたっての豪州の協力に感謝する旨述べられた(詳細は外務省ホームページ参照)。

6月17日豪州から日本に空輸され、深夜に相模原キャンパス到着。その後、調布航空宇宙センターに移送し、X線CT探傷装置により、試料容器を着陸用カプセルから安全かつ円滑に取り出すため撮像を行った後、現在は、相模原キャンパスのキュレーション施設内で着陸用カプセルを解体し試料容器を取り出す作業を行っている。

今後も試料の有無を含めた分析作業を慎重に実施する予定。

宇宙開発に関する海外の動向

- JAXA 堀川技術参与の国連宇宙空間平和利用委員会 (COPUOS)¹本委員会次期議長への就任の事実上の確定について [澳]

COPUOS 本委員会の議長については各地域グループから持ち回りで選出される慣例となっており、2012年及び2013年期の議長は日本が属するアジアグループから選出されることとなっている。6月9日から18日にかけて、オーストリア・ウィーンにて開催された同委員会において、堀川参与はアジアグループから次期議長候補として推薦され、同委員会の報告書に明記されたことにより、堀川参与の議長就任は事実上確定した。なお、正式には、COPUOS内の手続を経て、2012年6月に議長に就任する予定(任期は2年)。

- 長征ロケット、技術試験衛星の打上げに成功 [中]
- 6月15日(火)1時39分(世界標準時、以下同じ)、中国は酒泉衛星発射センターより、長征2Dロケットにより技術試験衛星「実践12号(SJ-12)」の打上げに成功した。中国による公式発表はないが、米国航空宇宙局によると低軌道に投入されたと推測

¹ 国連宇宙空間平和利用委員会(COPUOS)について

国連宇宙空間平和利用委員会(COPUOS)は、世界初の人工衛星の打上げを契機として1959年に設立された(現在は69カ国が加盟)。近年では、スペース・デブリ(宇宙ゴミ)提言ガイドラインを策定するなどのデブリ対策の取組や宇宙技術を活用した災害把握・管理、地球環境問題への取組が本格化しつつある。また、途上国メンバーに対する普及啓発活動などを実施してきている。

されている。

- ドニエプルロケット、技術実証衛星等の打上げに成功 【露等】
6月15日(火)14時42分、ISC コスモトラス社は、ドンバロフスキ宇宙基地(ヤースヌイ射場)よりドニエプルロケットを打ち上げ、スウェーデン宇宙公社の自律フォーメーション飛行・ランデブー技術実証衛星「プリズマ(Prisma)」、フランス国立宇宙研究センター(CNES)の太陽観測衛星「ピカール(Picard)」の所定の軌道投入(太陽同期軌道)に成功した。打上げ時の質量は計約340 kg。
- ドニエプルロケット、地球観測衛星の打上げに成功 【露、独】
6月21日(月)2時14分、ISC コスモトラス社は、バイコヌール宇宙基地よりドニエプルロケットを打ち上げ、ドイツ航空宇宙センター(DLR)の地球観測レーダ衛星「TanDEM-X」の所定の軌道投入(太陽同期軌道)に成功した。打上げ時の質量は約1340 kg。同衛星は、2007年に打ち上げられた TerraSAR-X と共同観測を行う予定。
- イリジウム社とスペース X 社、商業打上げ契約を締結 【米】
6月16日、移動体衛星通信サービス事業者のイリジウム社は、次世代の通信衛星の打上げサービスについてスペース X 社と492 百万ドルの契約を締結したことを発表した。打上げ機数は公表されていないが、2015年から2017年にかけてヴァージニア州ヴァンデンバーグ空軍基地より高度780 km の低軌道に重量800 kg の衛星をファルコン 9 ロケットで打ち上げることとなる。